



笑顔のみんな 古都に満開

メリー・アンブレラ・プロジェクト

大極殿前に広げられた、被災地の子どもたちの笑顔をプリントした傘＝奈良市の平城宮跡

世界中の子どもたちの笑顔を印刷した傘を広げて、世界を元気にしようという「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が5日、奈良市の平城宮跡や興福寺、東大寺で開かれた。東京のアーティスト水谷孝次さん(59)が笑顔の輪を通じて、人々に未来への希望や平和の願いを発信しよう企画した。

水谷さんは2008年の北京五輪開会式で披露したのをはじめ、世界中で行っている。今回、趣旨に賛同した県内や大阪、京都の大学生約40人が参加した。

傘にプリントされたのは、大津波に襲われたインドネシアのバンダアチエや大地震に見舞われた中国・四川省の子どもたちの笑顔。「絶望を知ることができる」と水谷さんが現地を訪ねて撮影した。水谷さんは「歴史ある奈良から日本の未来を笑顔で覆っていきたい」と話した。



2010年(平成22年)

12月6日

月曜日